

## 平成19年度 第7回



# 石狩市浜益区地域協議会

平成19年12月19日(水)13時30分  
石狩市浜益支所 庁議室(2F)



(果樹せん定講習会 35. 2. 17)

### 昭和35年2月17日 果樹せん定講習会

昭和35年2月17日の果樹せん定講習会の様子。北海道より果樹専門技術員を招き、2日間に亘り幌果樹組員三十余名を対象に、果樹(りんご、なし)の最新のせん定(枝切り)や施肥、病害虫防除法などの指導講習会を開催しました。当時の資料によると、果樹栽培が始まったのは明治33年で、無袋栽培方式を採用。経営反別は50町歩にも及び地元だけでは捌ききれないので、羽幌や留萌方面に移出。昭和5年頃から袋かけ栽培へ変わり増収をはかり、小樽港から箱詰めで樺太方面に積出し、中には樺太まで出張販売した人もいたそうです。戦後は統制のため厚田、江別方面や天売、焼尻方面に移出。その後は空知方面にも販路が求められたようです。

昭和35年当時の作付けは、りんごが主で、晩生種が多く、四九号、六号など。次いで中生種の十四号、旭、十二号など。早生種は紅さがけ、黄さがけなどだったようです。 [広報はます昭和35年4号より]

### = 会議次第 =

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告
  - 1) 新たな地域協議会委員の紹介
  - 2) 平成20年度地域自治区振興事業について
3. 議事
  - 1) 公共施設の有効活用について【継続】
4. その他
5. 閉会